

題 目 アクレス 3510 コーティングフロア

仕 様 書

和信化学工業株式会社

木工塗料事業部

平成 年 月 日

アクレックス 3510 コーティングフロア

最近の住宅のリビングや廊下に多く使用されているフローリングは消耗が激しく、キズ、汚れにより表面の艶がなくなってきます。そのために、ワックスがけなどの定期的なメンテナンスを行っています。また、体育館などのウレタン仕上げの木床についても、良好な状態を維持する保護剤としてワックスが使用される場合があります。しかし、通常のワックスでは、数ヶ月ごとの定期的な塗り替えが必要となります。

本品は、耐久性と耐水性に優れたウレタン樹脂を使用し、汚れや水、傷からフローリングなどの木床を長期間しっかりガードします。またワックスでは困難であったスポーツフロアにおける「耐ラバーマーク性」にも優れていますので、体育館などでも使用することが出来ます。

§ ホルムアルデヒド放散等級

F (日本塗料工業会登録 W01013)

§ 特 長

- 水系塗料 …………… 環境対応型であり火気の心配がありません。
臭気が少なく作業中でも気になりません。
厚生省指定の毒物・劇物・消防法の危険物に該当しません。(キシレン、トルエン、エチルベンゼン、ホルムアルデヒドを使用していません。)
- 作業性が良好 …………… 誰でも簡単にワックス感覚で施工出来ます。
- 塗膜性能が良好 …………… ウレタン樹脂使用の為、耐久性と耐水性に優れ
強靭な塗膜を長期間維持します。
- 耐ラバーマーク性が良好 …… 体育館などの屋内スポーツ施設の簡単なお手入れ用として使用することが出来ます。
- 乾燥が早い …………… 施工後1時間程度で軽い歩行が可能です。
- リコート性が良好 …………… 従来の塗料のような研磨は必要ありません。
- メンテナンスが楽 …………… 通常の手入れは 乾拭きやモップ拭き。汚れのついた場合にも、水を含ませ硬く絞った雑巾で拭きとるだけでほとんどの汚れが落ちます。

§ 用 途

文教施設・店舗・一般住宅など広範囲木質フローア―塗装面、化学床の定期的なメンテナンス用塗料としてお使い下さい。

§ 使用 方法

1. 使用前によく攪拌して、中身を均一にして下さい。
2. 基本的には原液でお使い下さい。夏場乾燥が早くて塗りにくい場合などは水で希釈して下さい。(10%程度)
3. 標準塗装回数は1回塗りです。塗布量は $20 \sim 30 \text{ g/m}^2$ 。より光沢や耐久性を持たせる場合は2度塗りをお奨めします。
(体育館などの本格的な再塗装にはアックス 3500 フロアをご使用下さい。)

使用の前には本書後半にある注意事項を必ずお読み下さい。

§ 塗 料 性 状

外 観	半透明淡黄色液体	
粘 度	11秒±2秒	4 フォードカップ / 25
密 度	1.04±0.02	25 (ウイトカップ)
不揮発分	20%	計算値
凍結安定性	異 状 な し	-10 ~ 室温 凍結融解 5 サイクル
保管安定性	異 状 な し	50 1ヶ月保管

§ 乾 燥 性 目 安

塗 布 量 $20 \sim 30 \text{ g/m}^2$

乾燥時間 指触 30分、指圧 2時間 (気温/湿度、20 / 60%)

条件によって乾燥状況は変わりますので参考として下さい。

§ 塗膜性能

	コーティングフロア	他社品 ワックスA	他社品 ワックスB	
不揮発分	20.1%	22.5%	25.6%	
光沢	75	73	75	UVフロアに塗布 後測定(入射光 角度 60°)
粘度	9"3	7"4	8"0	IHS カップ 25
耐滑り性				滑りにくいもの
耐ラバーマーク性			×	黒ゴムで擦った跡をみる
ラビング試験				500g Tシャツ 250回
耐水性 1h放置後 3h放置後 6h放置後		×	×	水を拭き 1分 後に爪をたて て傷が付くか 見る。
耐エタノール性	○	白濁	白濁	60%エタノール 1分放置
乾燥 指触 指圧	32' 2'00'	50' >24'	1'00' 2'20'	22 58% 5mil (ガラス板塗布)
鉛筆硬度	F	2B	B	5mil ガラス板 塗布後7日放置

§ 耐汚染性試験 (UVフロアに各塗料を30g/m²塗布 1週間後テスト)

	コーティングフロア	他社品 ワックスA	他社品 ワックスB	
キシレン		×		スポット 24 時間 放置後水洗 または ベンジン拭き 評価: 良 悪 (×)
60% エタノール		×	×	
ミネラルスピリット		×		
純水		×		
5% 酢酸		×	×	
5% 炭酸ナトリウム		×	×	
10% 食塩水		×		
弱アルカリ性洗剤		×	×	
中性洗剤		×		
弱酸性洗剤		×		
ソース				
醤油				
黒マジック		×	×	
赤マジック		×	×	
黒クレヨン				
赤クレヨン				
黒インキ	×			
赤インキ		×	×	
耐湿熱性試験		白化	白化	

耐湿熱性試験; 沸騰水を垂らした上に、沸騰水入りビーカーを乗せ

20分間放置した後の状態を見る。

§ 塗装工程

工程	作業	備考
清掃	砂ボコリ、ゴミ、チリ等の掃除	
前処理 (クリーニング)	汚れや油分をクリーナー等で取り除く	(汚れた)ワックスがある場合は、剥離剤などによりワックスを完全に除去する。*1
水拭き	よく絞ったモップ、雑巾等でしっかりとふき取る。	クリーナー、剥離剤等は残さないこと。
乾燥	20～30分	20
マスキング (養生)	壁、柱など、塗料がついて困る場所にはマスキングを行う。	
塗布	「アクレックス 3510 コーティングフロア」を塗装(刷毛、コテ刷毛または羊毛モップ*2)	20～30g/m ²
乾燥	半日放置	1時間程度で軽い歩行が出来ます。

*1; ワックスが残っていると塗膜の密着不良、白化の原因となるために注意して下さい。

*2; 羊毛モップは毛の短い物をお使い下さい。

§ 使用上の注意

特殊な加工やワックス類を使ったUVフローリング、化学床への「前処理なし」での密着性には問題があります。必ずワックス類の除去等の前処理を行って、目立たぬ所で密着性の確認を行って下さい。(前処理を行っても密着しないものもあります。)

密着性の確認; 目立たないところに塗装を行い、十分に乾燥させた(半月程度)後にセロテープを貼り、コインなどで擦って(床を傷つけないようお気をつけ下さい)、よく密着させる。その後、セロテープを剥がして塗膜の剥がれがないか確認する。

塗料自体が、もともと褐色をしています。淡色や白系のフローリングでは褐色が目立ちやすくなります。淡色や白系のフローリングへの塗装は避けて下さい。

(開封後、時間と共に塗料の色が褐色になっていきます。それに伴い塗膜も褐色が強くなりますので注意して下さい。)

木材は反り、膨れ、割れ等を起こしやすい素材です。クリーナー、剥離剤、コーティング剤等を床面などに大量にこぼして引き伸ばす工程をとらないで、モップ等で適量を手際よく塗布するように心掛けて下さい。(こぼしたところが跡になる事があります。)

低温時には造膜性が悪く、満足する塗膜性能が得られないことがあります。気温5以下での塗装は避けて下さい。又塗装中、養生中は換気を良くして下さい。

本品は水系塗料でありますので低温時には凍結しますが、解凍すれば問題ありません。しかし、できるだけ凍結させないように注意が必要です。

刷毛などの塗装器具の洗浄は、乾かぬうちに水でよく洗ってください。乾いてしまうと水では落ちませんので、ご注意下さい。

残塗料及び洗浄廃液は、河川・下水に流さないで下さい。

更に詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。